

東金Stories2023 願いを込めて バルーンリリース

福祉のまち推進委員会



行寺会長、東金商業高等学校校長から挨拶をいただきました。いよいよリリースの時！ハーサルを済ませ東金商業高等学校吹奏楽部の演奏でみんなの気持ちがひとつになったところでカウントダウン開始です。「3、2、1、東金Stories!!」の掛け声と同時にリリース！1200個の風船が青空に舞いました。「わあ、綺麗！」「すごい！」「等々」等の歓声と拍手、参加者みんなが飛んでいく風船を笑顔で見つめていました。今回16の協力事業所から約160名、当日参加の一般の方々約320名、計約480名がこのイベントに参加しました。東金市・東金市社会福祉協議会・東金商業高等学校・東部地域包括支援センター・西部地域包括支援センター・東金商工会議所青年部のご協力により笑顔の花をたくさん咲かせることができました。心から感謝申し上げます。

文責 ゆりの木苑 大森 孝太

10月7日（土）、東金商工会議所福祉のまち推進委員会主催にて、東金Stories2023を開催しました。東金中央公園を舞台に、参加者が1200個のバルーンにそれぞれの願いを込めて大空に放ちました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され日常が少しずつコロナ禍以前に戻りつつある反面、諸外国での紛争の長期化、国内での度重なる物価高騰など私たちはこの先行き不透明な状況下に置かれています。そんな時こそ「少しでも明るく上向き、みんなの笑顔でいっぱいになりましょう」と一昨年行ったバルーンリリースを計画しました。

当日は天気には恵まれましたが、朝から強風吹き荒れる中、東金市高齢者支援課・東金市社会福祉協議会・東金市東部地域包括支援センター・東金市西部地域包括支援センター・東金市市長、社会福祉協議会真



女性会だより

9月27日～9月28日
創立35周年事業・広域活動Cブロック事業

今年度は千葉県商工会議所女性会連合会（以下、県女連）が創立35周年を迎えることから記念事業が行われることとなり、各ブロックの広域活動事業もそれに合わせて行われました。

県女連創立35周年事業



多様性の重要性について学びました

「なぜダイバーシティを推進するのか」講師・淡路 睦氏（株式会社千葉銀行 取締役専務執行役員）

今後とも変化していくことが予想される社会環境において、組織を構成するメンバーの多様性は重要な要素となることや、その多様性を活かすための心理的安全性（不安・恐れがなく、自由に発言・行動ができること）の重要性と、千葉銀行の取組・実績などについて教えていただきました。

広域活動Cブロック事業

「茂原市におけるフィルムコミッションの取組について」講師・茂原市役所商工観光課 テレビや映画などのロケ隊誘致に関して教えていただき、その施設が登場することによる広告効果はかなりの大きく、知名度不足に悩んでいた茂原



トロコ列車を背に・・・

市のブランド力向上に結びついたとのことでした。

講演会の他にも、移動の際にはトロコ列車（小湊鐵道）に乗り、道の駅に立ち寄り、各地域の観光への取組について学べる体験が多くありましたので、今後の東金市内での活動に生かせるようにしていきたいと思いを

工業部会・労務協議会合同視察研修

9月15日（金）工業部会・労務協議会合同で4年ぶりとなる視察研修へ行き、市にある「サイバーダインスタジオ」を見学。このスタジオには、サイバーダイン株式会社研究・開発をしている様々な次世代サイボーグ型ロボットスーツ（HAL®）が展示さ



HAR®の歴史について学びました



最新技術を体験しました

などの現場でもすでに導入されており、実際に医療現場で導入されている様子の説明もありました。

れていました。HAL®とはHybrid Assistive Limbの略で、身体機能を改善・補助・拡張・再生する事が出来るサイボーグ型ロボットの事です。医療・介護業界だけでなく、重たい荷物を運ぶ運送業

説明の後、一人一人が実際に装置をつけHAL®の動作を体験。動かそうとする信号を読み取る事でロボットが動くという最先端技術を体験し、最新技術に驚きながらも皆さん積極的に質問をしていました。

その後、守谷市のアサヒスーパードライミュージアムを見学。ビールができるまでの製造工程をたどり、[SUPER DRY GO RIDE]では実際にビール缶の目線で製造工程を紹介するアトラクションを体験しているような珍しい体験型工場見学となりました。

4年ぶりの視察研修となりましたが、最先端技術に触れる事ができ、参加者同士の親睦を深める有意義な視察研修となりました。

池の端より（九十八）

トビ（とんび）②

（前号の続き）トビを見ていたらすぐにカラスが現れ、空中戦に。この時カラスは3羽いて、代わるがわるトビにちよつかいを出していた。それに対して応戦はするものの諦めてか、飛んで行ってしまった。果たしてあの時、トビは何を狙っていたのだろう。トビに限らないが鳥は視力が発達している。上空から地上の獲物を探ることが出来るのは人の何倍も視力がいいからである。ワシやタカの仲間には食物連鎖の後の方、すなわち生態系では上位にいる。ワシやタカがいるということは複雑な生態系があつてのこと。掃除屋さんのトビにも当てはめられるだろう。梢で、あるいは上空を滑走しているトビを見かけることが出来るのは八鶴湖とその周辺の環境がまんざらでもないことの証である。

細川 隆

第99回八鶴湖生き物調査

空を見て雨対策、雨天決行です。



11/4 SAT

帽子・タオル、暑さ対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合：八鶴館さくらホール
時間：9：00～11：45頃

スマホCLUB

毎週金曜日 10：30～約1時間半
持ち物：スマホ 参加費 500円
新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年のみなさん、スマホデビューしませんか？



11月3日 10月17日 24日
場所：中央コミュニティセンター



まちの駅ネットワークとうがね

問（株）街波通信社 TEL 0475（86）7772